

平成26年度学校経営の改革方針

三重県立四日市商業高等学校

I 目指す学校像（基本理念）

校訓「至誠」の精神をもとに、商業教育を通じて、知・徳・体・心の健全な成長を促し、礼儀を重んじ、誠実を旨とする専門性の高い職業人の育成に努めます。

II 現状と課題

- 1 県下有数の伝統校でありながら近年は入学希望者の数に恵まれず、定員を割り込むことすらありました。商業教育に対する時代の変化や要請に着実に応えるために見直しも必要となります。また多面的に生徒を支え成長させる本校の教育力の素晴らしさについての情報発信を地域や中学生に行う必要があります。そのうえでさらに魅力のある学校にする不断の努力を行い人気校としての安定した地位をめざします。
- 2 極めて厳しい就職難の中でも、本校卒業生の各方面での活躍と本校生の即戦力としての高い評価により、就職希望者の決定率は100%を維持、特に就職者の約6割が事務職に就いているなど、輝かしい実績を誇っています。この強みを維持・発展させていく必要があります。進学面においても『若き「匠」育成支援事業』の指定を受け、より専門性の高い人材育成のため商業高校ならではの進学指導のあり方を充実させなければなりません。そのためにはキャリアガイダンスについての分掌と担任が一体化した組織的な取組が必要です。
- 3 本校は資格取得に魅力を感じて入学してくる生徒が多くいます。本校の資格試験合格者はこれまで順調に伸びてきていますが、生徒の要望に応え、きめ細かい指導によって難度の高い上級資格を獲得させるための組織的・計画的な取組を発展させることが必要です。
- 4 スポーツ活動を通じて健康で目的意識のある生徒づくりを行ってきた結果、数多くの競技で県下有数の力を発揮する部活動の成果を出しています。そこで、さらに高みを目指す生徒を育てることのできる力を多くの教員が持つことが課題です。しかし同時に休日などにおけるクラブ指導による職員の過重労働解消も大きな課題です。

III 中長期的な重点目標

- 1 中学生や地域へ、本校の専門教育は就職のみならず進学にも有利であることを強く情報発信し、本校の魅力を伝えることで入学希望者の増加を図り後期選抜での競争率を着実に高めます。
- 2 ビジネスの高度化に対応できる人材育成のため進学指導を強化します。そのため教員の指導力を高め、専門性を生かした四年制大学への進学者をより増加させるとともに、国公立大学や難関私大合格を常に可能とする組織的な取組を進めます。
- 3 各種検定・資格試験への取組を強化し、商業教育の更なる充実を図ります。また商業系クラブの活性化を図るとともに、様々な活動で地域づくりに貢献できる取組を促進します。
- 4 部活動などの教育環境の整備を進め高いレベルでの部活動による生徒の育成を図るため、運動部文化部を問わず複数のクラブで常時全国有数の成績を出せるように努めます。
- 5 職員にとって、より健康的で働きやすい職場環境づくりに努めます。

IV 本年度の行動計画（本年度各部の重点的な取組）

1 中学生や地域へ、本校の専門教育は就職のみならず進学にも有利であることを強く情報発信し、本校の魅力を伝えることで入学希望者の増加を図り後期選抜での競争率を着実に高めます。

（総務部）

（1）情報発信をします。

【取組状況の指標】

①種刊行物（学校案内、チラシ、ポスター）を充実します。

【達成状況の指標】

①学校案内 1 回以上（7 月）、チラシ 4 回以上（6・9・11・2 月）、ポスター 1 回以上（6 月）の発行。

（2）競争力・ブランド力を強化し、地域との密着を図ります。

【取組状況の指標】

①説明会の主体を生徒とし、他校との差別化を図ります。

【達成状況の指標】

①中学生、説明会担当者へのアンケート調査 理解できるが 80%以上。

（生徒指導部）

【取組状況の指標】

①挨拶を励行し、明るく元気な校風であることを学校訪問や体験入学等で、知ってもらいます。

【達成状況の指標】

①数値化が困難なため、4 月当初から 3 月までの入室印象（主観的判断）。

（教務部）

（1）生徒や保護者にとって、魅力的で安心できる学校づくりに取り組みます。授業時間の確保に努めるとともに、行事の時間を確保することで、生徒や保護者の満足度を高めます。

【取組状況の指標】

①授業の振替えにより、課題授業を極力少なくし特編授業の有効的な組み方をします。

【達成状況の指標】

①授業時間を法定時数の 90%以上、課題授業の割合を 1%未満。

（1 学年）

【取組状況の指標】

①「礼儀作法が身に付く」「挨拶ができる」等のプラスアルファの部分まで身につけた 1 年生の姿を通して、中学生・保護者共に就職・進学いずれにも有利であることのアピールにつながります。

【達成状況の指標】

①高校生活入門講座に実施するアンケートによる評価で A 評価 70%以上。

2 ビジネスの高度化に対応できる人材育成のため進学指導を強化します。そのため教員の指導力を高め、専門性を生かした四年制大学への進学者をより増加させるとともに、国公立大学や難関私大合格を常に可能とする組織的な取組を進めます。

（教務部）

（1）高度な検定に対応した授業により資格や検定合格を利用して進学できるように努めます。

【取組状況の指標】

①公開授業や研究授業等を実施し、生徒の学力をさらに伸ばす工夫をします。

【達成状況の指標】

①授業の満足度調査から生徒の授業の取組状況を把握する。授業に集中して取り組んでいる 85%以上。

(進路指導部)

【取組状況の指標】

- ①進学指導に対する教員の指導力向上のために、教員向けの「志望趣意書」対策講座を開きます(年1回)。
- ②進路講話、進学ガイダンス、オープンキャンパス、卒業生懇談会(進学)等を通じて四年制大学についての興味・関心を高める指導を行います。
- ③一般推薦入試での大学希望者を増加させます。そのため小論文対策指導年2回、進路指導部による面接指導を行います。さらに外部講師による面接指導(年1回)実施します。
- ④「若き匠事業」について現在の連携校との取組をさらに深化させます。

【達成状況の指標】

- ①講座受講後職員に対するアンケート調査で、「志望趣意書指導に対するスキルアップにつながった」とする回答70%以上。
- ②生徒に対するアンケートを実施し、「大学進学に対する関心が増した」とする回答70%以上。
- ③生徒にアンケート調査を行い「小論文・面接試験に自信がついた」とする回答80%以上。
- ④大学との連携事業における生徒ふりかえりシートやアンケート調査結果「知識や技能が身についた」「進路選択に大いに役立った」との回答80%以上。

(1学年)

【取組状況の指標】

- ①1年生の最初から、進学用の資料の取り寄せを勧め、意識づけを図ります。
- ②年集会において、機会があるたびに進路について話をして意欲の向上を図ります。

【達成状況の指標】

- ①資料請求する生徒200人以上。
- ②学年集会で年5回以上話し、聞き取り調査で満足度70%以上。担任から月1回以上話をして事後に聞き取り調査をし、満足度70%以上。

(2学年)

(1) 基礎学力の充実を図る。

【取組状況の指標】

- ①普段の授業を大切に、集中して学習に取り組めるクラスづくりを進めます。担任と教科担当または学年と教科間の連携を密にして学習の取組状況の把握に努め、学習意欲向上を図ります。
- ②朝学に珠算・電卓問題を行い商業の計算能力を高める。

【達成状況の指標】

- ①「集中して授業に取り組める」80%以上。(満足度調査の結果)
- ②朝学を年20回実施。アンケート評価により計算能力・集中力が高まった生徒80%以上。

(2) 進学指導の強化を図る。

【取組状況の指標】

- ①保護者会で、高度の専門の資格を生かした四年制大学への進学を説明し、必要な資格取得を勧めます。
- ②長期休業中のオープンキャンパスや進学説明会への参加を呼びかけます。
- ③進路指導部と連携し外部指導者によるキャリア指導や進学指導を実施します。
- ④進学課外の受講を勧め進学課外を1教科あたり年間20回以上実施します。

【達成状況の指標】

- ①保護者会での説明を学期に1回以上実施。説明プリントの配布。
- ②アンケート調査(進学意欲が高まった。進学に対する理解度)で良いが80%以上。
- ③アンケート調査(進学意欲が高まった。進学に対する理解度)で良いが80%以上。
- ④アンケート調査で進学課外が役立ったとする生徒80%以上。

(3 学年)

(1) 生徒への説明や面談時間の確保

【取組状況の指標】

- ①時期に応じて進学説明会を実施します。
- ②担任面談・保護者懇談会等による面談を計画的に行い、生徒の進路関係情報の共有化を図ります。

【達成状況の指標】

- ①進学説明会の実施により進路が明確になった生徒または進路に関する理解が深まった生徒の割合 80%以上。
- ②面談時間の確保と面談予定回数（年間 3 回）達成率 100%。個々の生徒の進路関係情報が共有化されていると実感する教員の割合が 100%。

(2) 4 年制大学進学に対応するための課外授業や校内模試の実施（進路指導部、各教科と連携）

【取組状況の指標】

- ①進路模試、課外授業、校外模試を計画的に行います。
- ②進学希望者への早期からの説明会や個別指導を行います（担任や教科、進路指導部との連携）。
- ③大学や学部の紹介、大学入試情報の提供を行います。
- ④進学課外の受講生徒と実施回数を確保します。
- ⑤大学の学校説明会・オープンキャンパスへの、生徒の積極的な参加を促します。

【達成状況の指標】

- ①進路模試（年間 4 回）におおき上位 20 名の成績が、得点率 70%以上。
- ②生徒に対しての進路情報に関する情報提供満足度 80%以上。
- ③大学進学希望者に占める進学課外の参加率 70%以上、年間実施予定回数 15 回の実施達成率 100%。
- ④オープンキャンパス・学校説明会への参加率 90%以上。

3 各種検定・資格試験への取組を強化し、商業教育の更なる充実を図ります。また商業系クラブの活性化を図るとともに、様々な活動で地域づくりに貢献できる取組を促進します。

(商業部)

(1) 各種検定・資格試験への取組を強化します。

【取組状況の指標】

- ①全商各種検定 1 級および日商簿記 1 級、2 級、経理協会上級、情報関係の I P、F E、A P 取得を目指します。
- ②高度資格取得に向けて課外授業の充実と外部講師による定期講習会を実施。また、基本情報免除対象科目履修講座の開講および午前免除試験受験を増やします。
- ③2 年生流通コースのインターンシップや 3 年生課題研究等を通じて体験学習、3 年生情報マネジメント科総合実践における表現力の育成。

【達成状況の指標】

- ①各種検定試験の合格率。1 級 60%以上・2 級 70%以上・3 級 100%
- ②前年度回数より多く実施する。体験発表や報告会における貢献度。前年度比 1.1 以上とする。
- ③学習成果発表会での表現力、完成度をあげる。アンケート評価など充実している 90%以上。

(2) 商業系クラブの活性化を図ります。

【取組状況の指標】

- ①各種競技大会上位入賞を目指すために練習試合、合宿などに積極的に参加し、選手の意識を高め指導の強化を図ります。
- ②大学、専門学校などと連携して継続的な指導体制を確立します。

【達成状況の指標】

- ①商業系各部活動の入部者および定着数を増やし、各種競技大会で、全国大会・東海大会に出

場します。

②高大連携授業の実施回数および参加者数。合宿等講習会参加数。前年度比 1.1 以上とする。

(3) 地域づくりに貢献できる取組を促進します。

【取組状況の指標】

①課題研究の講座を中心として地元商店街の活性化、地元特産物を活かした商品開発に取り組み、継続的にマーケティング活動を展開していきます。また、入門講座、出前授業など生徒主体の中学生向けの広報活動を充実させます。

【達成状況の指標】

①イベントの実施回数と参加者数を対前年度比 10%以上。出前授業、広報活動の数など年間 10 回以上。

(生徒指導部)

【取組状況の指標】

①社会人としての基礎を育成するために、生徒指導室への入室マナーを徹底します。

【達成状況の指標】

①数値化が困難なため、4 月当初から 3 月までの入室印象（主観的判断）。

(教務部)

(1) 生徒の学習に対する取組状況を把握するための機会を設け、教育の充実に努めます。

【取組状況の指標】

①検定学習の更なる充実に努め、高校卒業後も継続して学んでいける学力や習慣の定着を図ります。

【達成状況の指標】

①各科目で授業満足度アンケートを取り、問題点を検討します。授業が理解できる 85%以上。

(1 学年)

【取組状況の指標】

①1 年次検定 3 級 100%合格をめざし、学年と教科担当でいっそう協力します。

【達成状況の指標】

①検定 3 級 100%合格

(2 学年)

(1) 各種検定・資格試験への取組を強化します。

【取組状況の指標】

①資格取得が進路に大きく影響することを説明し積極的な受験を促進します。
②提出物や補習参加の徹底を図るため、担任と教科担当との連携を密にします。

【達成状況の指標】

①目標検定（簿記実務検定、情報処理検定、ビジネス文書実務検定、商業経済検定、珠算・電卓検定）の合格率、1 級 70%以上、2 級 80%以上、3 級 100%。個人面談・保護者会学期に 1 回実施。
②担任と担当者との連絡会を学期に 1 回実施。

(2) 商業系クラブの活性化を図ります。

【取組状況の指標】

①商業系クラブの活動状況の報告と、入部を積極的に勧めます。

【達成状況の指標】

①商業系クラブ加入率 15%以上。

(3 学年)

【取組状況の指標】

①商業系クラブに在籍する生徒への働きかけを担任からも行います。

- ②生徒一人ひとりの努力すべき点を補習等の実施（各教科との連携）で把握し補完します。
- ③全商検定 3 目以 1 級合格者表彰ならびに三重県教育委員会表彰について奨励します。

【達成状況の指標】

- ①商業系クラブに在籍する生徒の出席率 95%以上。
- ②各種検定 3 級の取得率 100%。
- ③全商検定 3 種目以上 1 級合格者 100 名以上、三重県教育委員会表彰 70 名以上。

4 部活動などの教育環境の整備を進め高いレベルでの部活動による生徒の育成を図るため、運動部文化部を問わず複数のクラブで常時全国有数の成績を出せるように努めます。

(運動部)

県総体女子の部において平成 21～23 年度まで 3 年連続総合優勝を達成していましたが、24 年度は 2 位、25 年度は 3 位という結果だった為、今年度こそ総合優勝奪還を目指します。

【取組状況の指標】

- ①県高等学校総合体育大会の女子の部において総合 1 位を目指します。
- ②運動部の指導者及び生徒の資質向上を図るため、外部から専門家を招き年 3 回のメンタルトレーニング講習を行います。

【達成状況の指標】

- ①全国総合体育大会出場クラブ 3 つ以上、県総体総合得点は 63 点以上。
- ②各運動部員の参加 80%以上。

(文化部)

(1) コンクール、競技会のあるクラブは東海、全国大会出場クラブ数を増やします。

【取組状況の指標】

- ①指導力向上のための教員研修を実施します。生徒の外部講習会・合宿等への参加を促します。

【達成状況の指標】

- ①東海、全国大会への出場クラブ数で、高文連所属クラブ 3 つ以上・商業系クラブ 4 つ以上。

(2) 地域と連携した取組を充実します。

【取組状況の指標】

- ①地域への取組を通じてアピールし、酒商のブランド力を高めます。

【達成状況の指標】

- ①地域と連携した取組の実施回数。訪問演奏、ボランティア参加など 10 回以上。

(事務部)

(1) 生徒の良好な部活動をバックアップするための施設整備の予算確保に努めます。

【取組状況の指標】

- ①野球場のネット嵩上げ、その他必要に応じ各種施設整備の予算確保をします。

【達成状況の指標】

- ①野球場のネット嵩上げにかかる設計の完了。来年度に向けての施設予算の確保。

(生徒指導部)

【取組状況の指標】

- ①部活動を健全に行うため、遅刻早退の数を減少させ、基本的な生活習慣定着に努めます。

【達成状況の指標】

- ①年間の 1 日における遅刻早退者数割合、全校生徒数の 0.1%以下。

(1 学年)

【取組状況の指標】

- ①1 年生のうちから、他校との練習や合宿に積極的に参加を促し、生徒の意識向上をめざしま

す。

【達成状況の指標】

- ①各クラブに聞き取りをし、参加率 80%以上。

5 職員にとって、より健康的で働きやすい職場環境づくりに努めます。

(1) 過重労働を減らす取組を進めるため定時退校や振休などを奨励します。

【取組状況の指標】

- ①退勤時刻早期化の奨励し、定時退校日設定を前年度より増加します。
②フレッシュ休暇など特休および振休の取得を奨励します。

【達成状況の指標】

- ①事務室は定時退校日を水曜日とし達成率 75%以上。教員は年 6 回以上定時退校日を設定し達成率 90%以上。
②必要な特休および振休の消化率 100%。

(2) 教職員にとって職場環境改善の取組を進めます。

【取組状況の指標】

- ①職場環境改善の実態調査を実施し課題を見つけ改善の方向を検討します。

【達成状況の指標】

- ①年度末に改善についての職員満足度を昨年比での改善についての肯定回答 20%以上。

(生徒指導部)

【取組状況の指標】

- ①定期的指導(登下校指導や頭髪服装指導等)において、教員が複数で指導に当たれるように計画・実施します。

【達成状況の指標】

- ①100%。

(1 学年)

【取組状況の指標】

- ①1 学年団全体が相互でコミュニケーションがとれ、1 学年団全員で 1 学年の生徒全員を指導する体制を作ります。

【達成状況の指標】

- ①数値化は困難だが、文書作成や PC に向かう時間の減少化。1 学年団内で話し合える時間の確保など。